

新ソブ

運用報告書（全体版）

第162期（決算日 2023年1月18日）第164期（決算日 2023年3月20日）第166期（決算日 2023年5月18日）
第163期（決算日 2023年2月20日）第165期（決算日 2023年4月18日）第167期（決算日 2023年6月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「新ソブ」は、2023年6月19日に第167期の決算を行ないましたので、第162期から第167期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2009年7月31日から2024年6月18日までです。	
運用方針	主として「世界ソブリン債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	新ソブ	「世界ソブリン債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界ソブリン債券マザーファンド	内外のソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債等をいいます。）を主要投資対象とします。
組入制限	新ソブ	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	世界ソブリン債券マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

お知らせ

当ファンドは、2024年6月18日に信託期間が終了し、償還を迎える予定です。

<141097>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落			
138期(2021年1月18日)	円 7,871			円 40	% △0.6	% 96.9	百万円 1,337
139期(2021年2月18日)	7,849			40	0.2	93.6	1,322
140期(2021年3月18日)	7,879			40	0.9	97.4	1,317
141期(2021年4月19日)	7,817			40	△0.3	97.0	1,272
142期(2021年5月18日)	7,802			40	0.3	97.3	1,263
143期(2021年6月18日)	7,808			40	0.6	97.9	1,248
144期(2021年7月19日)	7,784			40	0.2	97.3	1,225
145期(2021年8月18日)	7,735			40	△0.1	97.3	1,187
146期(2021年9月21日)	7,639			40	△0.7	93.9	1,165
147期(2021年10月18日)	7,775			40	2.3	97.1	1,175
148期(2021年11月18日)	7,658			40	△1.0	97.7	1,128
149期(2021年12月20日)	7,617			40	△0.0	97.5	1,087
150期(2022年1月18日)	7,512			40	△0.9	97.0	1,068
151期(2022年2月18日)	7,311			40	△2.1	96.6	1,034
152期(2022年3月18日)	7,326			40	0.8	97.4	1,031
153期(2022年4月18日)	7,462			20	2.1	97.5	1,039
154期(2022年5月18日)	7,395			20	△0.6	97.7	1,001
155期(2022年6月20日)	7,415			20	0.5	97.3	992
156期(2022年7月19日)	7,606			20	2.8	96.7	1,001
157期(2022年8月18日)	7,468			20	△1.6	97.1	971
158期(2022年9月20日)	7,528			20	1.1	97.4	968
159期(2022年10月18日)	7,460			20	△0.6	97.5	958
160期(2022年11月18日)	7,322			20	△1.6	96.8	934
161期(2022年12月19日)	7,212			20	△1.2	96.7	920
162期(2023年1月18日)	7,003			20	△2.6	96.3	890
163期(2023年2月20日)	6,985			20	0.0	96.1	880
164期(2023年3月20日)	7,043			10	1.0	96.8	857
165期(2023年4月18日)	7,088			10	0.8	96.7	851
166期(2023年5月18日)	7,244			10	2.3	96.7	864
167期(2023年6月19日)	7,439			10	2.8	96.7	888

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
			騰 落	率		
第162期	(期 首) 2022年12月19日	円	7,212	% —	% 96.7	
	12月末	6,894	△4.4	96.7		
	(期 末) 2023年1月18日	7,023	△2.6	96.3		
第163期	(期 首) 2023年1月18日	7,003	—	96.3		
	1月末	6,954	△0.7	95.6		
	(期 末) 2023年2月20日	7,005	0.0	96.1		
第164期	(期 首) 2023年2月20日	6,985	—	96.1		
	2月末	7,008	0.3	97.2		
	(期 末) 2023年3月20日	7,053	1.0	96.8		
第165期	(期 首) 2023年3月20日	7,043	—	96.8		
	3月末	7,082	0.6	97.0		
	(期 末) 2023年4月18日	7,098	0.8	96.7		
第166期	(期 首) 2023年4月18日	7,088	—	96.7		
	4月末	7,116	0.4	96.9		
	(期 末) 2023年5月18日	7,254	2.3	96.7		
第167期	(期 首) 2023年5月18日	7,244	—	96.7		
	5月末	7,272	0.4	96.5		
	(期 末) 2023年6月19日	7,449	2.8	96.7		

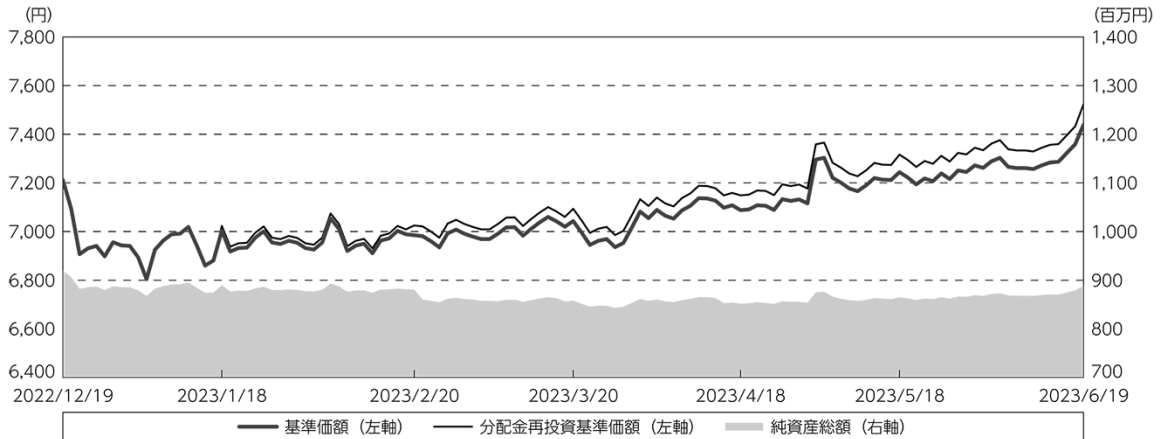
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2022年12月20日～2023年6月19日)

作成期間中の基準価額等の推移



第162期首：7,212円

第167期末：7,439円 (既払分配金(税込み)：80円)

騰落率：4.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2022年12月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の市場予想を下回る全米供給管理協会(I S M)製造業景況感指数などを受けて、米国連邦準備制度理事會(F R B)による利上げの鈍化が見込まれたこと。
- ・一部の米国の地方銀行を巡る懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・ポートフォリオにおいて投資比率の高いアメリカドルやユーロが円に対して上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・米国や英国などの中央銀行が政策金利を引き上げたこと。
- ・米国のインフレ指標が市場予想を上回ったことなどを背景にFRBによる金融引き締めが長期化するとの見通しが強まったこと。
- ・欧州中央銀行（ECB）などが政策金利引き上げ継続の姿勢を示したこと。

投資環境

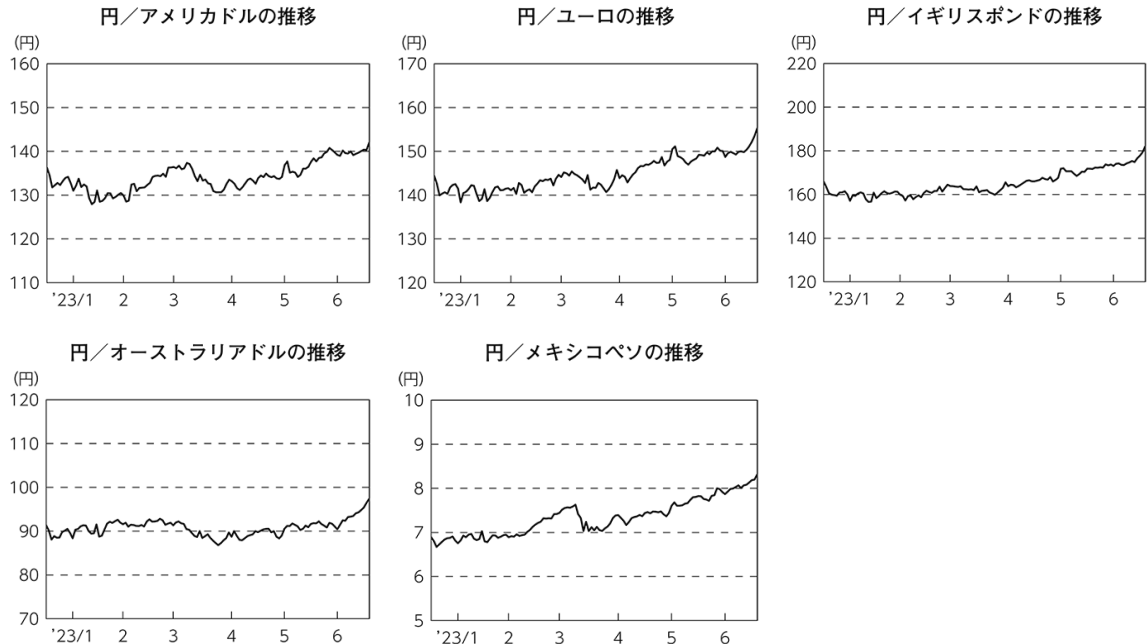
（債券市況）

米国など各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べて概して上昇（債券価格は下落）しました。

期間の初めから2023年2月下旬にかけては、米国の雇用統計の内容が堅調だったことや、米国のインフレ指標が市場予想を上回ったことなどを背景にFRBによる金融引き締めが長期化するとの見通しが強まったこと、ECBなどが政策金利引き上げの継続を示したことなどをを受けて、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。3月上旬から期間末にかけては、米国や英国などの中央銀行が政策金利を引き上げたことや、FRB高官のタカ派（金融引き締めの政策を支持）的な発言などが利回りの上昇要因となったものの、米国の市場予想を下回るISM製造業景況感指数などをを受けて、FRBによる利上げの鈍化が見込まれたこと、一部の米国の地方銀行を巡る懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、ユーロ圏およびドイツの鉱工業生産や製造業購買担当者景気指数（PMI）速報値が市場予想を下回ったことなどを背景に景気後退が懸念され、各国の10年国債利回りは総じて低下（債券価格は上昇）しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「世界ソブリン債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(世界ソブリン債券マザーファンド)

世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資を行ないました。

投資対象国は、期間の初めではアメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー、オランダ、シンガポール、メキシコ、イスラエルとしました。期間中は、ドイツとオランダを売却し、期間末ではアメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、フランス、ベルギー、シンガポール、メキシコ、イスラエルとなりました。また投資比率は、アメリカドルとユーロの対円での底堅い推移を想定し、これらの投資比率を高めとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2022年12月20日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年2月20日	2023年2月21日～ 2023年3月20日	2023年3月21日～ 2023年4月18日	2023年4月19日～ 2023年5月18日	2023年5月19日～ 2023年6月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.285%	20 0.286%	10 0.142%	10 0.141%	10 0.138%	10 0.134%
当期の収益	1	3	9	10	10	10
当期の収益以外	18	16	0	—	—	—
翌期繰越分配対象額	226	209	209	209	211	214

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「世界ソブリン債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(世界ソブリン債券マザーファンド)

世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資を行なう方針です。投資対象国（通貨ベース）、ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）につきましては、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。また、市場全体のボラティリティ（変動性）が高まる局面では円建債券の組入れを検討します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年12月20日～2023年6月19日)

項 目	第162期～第167期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	48	0.686	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(23)	(0.329)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(23)	(0.329)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.083	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(3)	(0.048)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	54	0.769	
作成期間の平均基準価額は、7,054円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

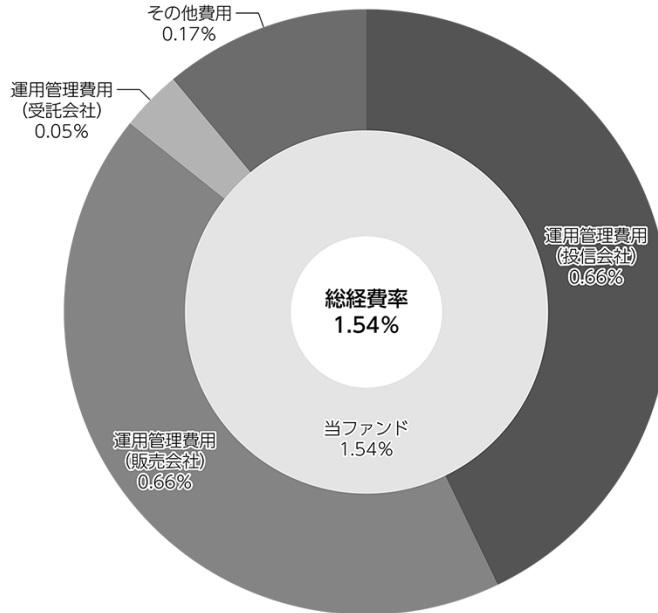
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.54%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年12月20日～2023年6月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第162期～第167期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
世界ソブリン債券マザーファンド		—	—	39,078	70,486

○利害関係人との取引状況等

(2022年12月20日～2023年6月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年12月20日～2023年6月19日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年12月20日～2023年6月19日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年6月19日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第161期末	第167期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
世界ソブリン債券マザーファンド		493,318	454,239	877,545

(注) 親投資信託の2023年6月19日現在の受益権総口数は、454,239千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年6月19日現在)

項 目	第167期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
世界ソブリン債券マザーファンド	877,545	98.4
コール・ローン等、その他	14,184	1.6
投資信託財産総額	891,729	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 世界ソブリン債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(871,861千円)の投資信託財産総額(877,534千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=141.97円、1カナダドル=107.46円、1メキシコペソ=8.3121円、1ユーロ=155.22円、1イギリスポンド=182.02円、1オーストラリアドル=97.36円、1シンガポールドル=106.00円、1イスラエルシェケル=39.9134円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
	2023年1月18日現在	2023年2月20日現在	2023年3月20日現在	2023年4月18日現在	2023年5月18日現在	2023年6月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	896,391,103	885,040,568	866,000,082	854,521,550	869,100,294	891,729,252
コール・ローン等	13,304,392	12,816,919	14,073,763	14,437,974	14,075,106	14,183,818
世界ソブリン債券マザーファンド(詳細)	876,908,994	867,722,125	846,361,300	840,083,576	851,926,322	877,545,434
未収入金	6,177,717	4,501,524	5,565,019	—	3,098,866	—
(B) 負債	6,250,897	4,227,671	8,077,947	2,873,259	4,272,755	3,119,326
未払収益分配金	2,542,161	2,522,025	1,218,058	1,201,533	1,193,854	1,194,522
未払解約金	2,174,298	960	5,281,240	6	1,300,347	423
未払信託報酬	1,000,910	1,094,754	906,310	934,341	973,373	1,046,228
未払利息	2	2	3	2	12	23
その他未払費用	533,526	609,930	672,336	737,377	805,169	878,130
(C) 純資産総額(A-B)	890,140,206	880,812,897	857,922,135	851,648,291	864,827,539	888,609,926
元本	1,271,080,824	1,261,012,865	1,218,058,838	1,201,533,438	1,193,854,415	1,194,522,473
次期繰越損益金	△ 380,940,618	△ 380,199,968	△ 360,136,703	△ 349,885,147	△ 329,026,876	△ 305,912,547
(D) 受益権総口数	1,271,080,824口	1,261,012,865口	1,218,058,838口	1,201,533,438口	1,193,854,415口	1,194,522,473口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,003円	6,985円	7,043円	7,088円	7,244円	7,439円

(注) 当ファンドの第162期首元本額は1,275,873,809円、第162～167期中追加設定元本額は17,968,282円、第162～167期中一部解約元本額は99,319,618円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第162期0.7003円、第163期0.6985円、第164期0.7043円、第165期0.7088円、第166期0.7244円、第167期0.7439円です。

(注) 2023年6月19日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は305,912,547円です。

○損益の状況

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2022年12月20日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年2月20日	2023年2月21日～ 2023年3月20日	2023年3月21日～ 2023年4月18日	2023年4月19日～ 2023年5月18日	2023年5月19日～ 2023年6月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 360	△ 159	△ 116	△ 48	△ 451	△ 647
支払利息	△ 360	△ 159	△ 116	△ 48	△ 451	△ 647
(B) 有価証券売買損益	△ 22,844,308	1,431,552	9,301,204	7,573,840	20,844,516	25,613,349
売買益	240,665	1,439,579	9,347,232	7,712,434	20,935,496	25,619,111
売買損	△ 23,084,973	△ 8,027	△ 46,028	△ 138,594	△ 90,980	△ 5,762
(C) 信託報酬等	△ 1,073,684	△ 1,174,350	△ 972,207	△ 1,002,273	△ 1,044,162	△ 1,122,294
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	△ 23,918,352	257,043	8,328,881	6,571,519	19,799,903	24,490,408
(E) 前期繰越損益金	△ 207,770,107	△ 229,388,122	△ 221,107,847	△ 210,633,790	△ 203,486,150	△ 184,594,214
(F) 追加信託差損益金	△ 146,709,998	△ 148,546,864	△ 146,139,679	△ 144,621,343	△ 144,146,775	△ 144,614,219
(配当等相当額)	(31,138,167)	(28,575,586)	(25,556,111)	(25,180,591)	(25,021,004)	(25,037,030)
(売買損益相当額)	(△177,848,165)	(△177,122,450)	(△171,695,790)	(△169,801,934)	(△169,167,779)	(△169,651,249)
(G) 計(D+E+F)	△ 378,398,457	△ 377,677,943	△ 358,918,645	△ 348,683,614	△ 327,833,022	△ 304,718,025
(H) 収益分配金	△ 2,542,161	△ 2,522,025	△ 1,218,058	△ 1,201,533	△ 1,193,854	△ 1,194,522
次期繰越損益金(G+H)	△ 380,940,618	△ 380,199,968	△ 360,136,703	△ 349,885,147	△ 329,026,876	△ 305,912,547
追加信託差損益金	△ 149,045,855	△ 150,667,275	△ 146,170,650	△ 144,621,343	△ 144,146,775	△ 144,614,219
(配当等相当額)	(28,803,731)	(26,457,328)	(25,526,918)	(25,181,923)	(25,022,589)	(25,038,699)
(売買損益相当額)	(△177,849,586)	(△177,124,603)	(△171,697,568)	(△169,803,266)	(△169,169,364)	(△169,652,918)
分配準備積立金	—	—	—	5,326	207,630	554,635
繰越損益金	△ 231,894,763	△ 229,532,693	△ 213,966,053	△ 205,269,130	△ 185,087,731	△ 161,852,963

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年12月20日～2023年6月19日)は以下の通りです。

項 目	2022年12月20日～ 2023年1月18日	2023年1月19日～ 2023年2月20日	2023年2月21日～ 2023年3月20日	2023年3月21日～ 2023年4月18日	2023年4月19日～ 2023年5月18日	2023年5月19日～ 2023年6月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	206,304円	401,614円	1,187,087円	1,206,859円	1,396,205円	1,541,848円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填額)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	31,139,588円	28,577,739円	25,557,889円	25,181,923円	25,022,589円	25,038,699円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	5,279円	207,309円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	31,345,892円	28,979,353円	26,744,976円	26,388,782円	26,424,073円	26,787,856円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	246円	229円	219円	219円	221円	224円
g. 分配金	2,542,161円	2,522,025円	1,218,058円	1,201,533円	1,193,854円	1,194,522円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	10円	10円	10円	10円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	10円	10円	10円	10円

○お知らせ

約款変更について

2022年12月20日から2023年6月19日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

世界ソブリン債券マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2022年12月19日）
（2021年12月21日～2022年12月19日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年4月30日から原則無期限です。
運用方針	内外の公社債に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	内外のソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債等をいいます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

原則として、世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

ポートフォリオの構築にあたっては、信用力の分析に加え、金利の水準や方向性、為替の水準や方向性、相対的魅力度、流動性などの分析を行ない、組入通貨やその配分比率、および組入銘柄を決定します。

また、為替動向などに応じて、日本円建てのソブリン債券へ投資することや為替予約取引などを活用して日本円への配分比率を調整することがあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<136824>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準額	騰落率		債組入比率	純資産額
		期騰	中率		
10期(2018年12月18日)	円 16,475		% △2.8	% 99.0	百万円 2,491
11期(2019年12月18日)	17,096		3.8	99.0	1,787
12期(2020年12月18日)	17,767		3.9	99.1	1,368
13期(2021年12月20日)	18,358		3.3	98.9	1,071
14期(2022年12月19日)	18,369		0.1	98.2	906

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準額	騰落率		債組入比率	券率
		騰	落		
(期首) 2021年12月20日	円 18,358		% -		% 98.9
12月末	18,440		0.4		97.8
2022年1月末	18,127		△1.3		97.4
2月末	17,812		△3.0		98.0
3月末	18,383		0.1		98.8
4月末	18,496		0.8		98.3
5月末	18,385		0.1		99.1
6月末	18,785		2.3		98.7
7月末	18,994		3.5		98.2
8月末	18,720		2.0		98.6
9月末	18,547		1.0		98.8
10月末	19,087		4.0		98.9
11月末	18,494		0.7		98.2
(期末) 2022年12月19日	18,369		0.1		98.2

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年12月21日～2022年12月19日)

基準価額の推移

期間の初め18,358円の基準価額は、期間末に18,369円となり、騰落率は+0.1%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国やユーロ圏の市場予想を下回る景況感に関する指標などを背景に、景気後退の可能性が懸念されたこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めペースの減速が見込まれたこと。
- ・投資対象通貨が総じて円に対して上昇したこと。

<値下がり要因>

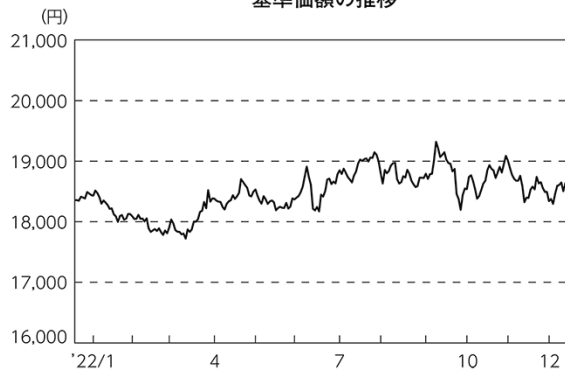
- ・世界の主要中央銀行が政策金利を引き上げたこと。
- ・欧州中央銀行（ECB）が政策金利引き上げ継続の姿勢を示したこと。

(債券市況)

米国など各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べて総じて上昇（債券価格は下落）しました。

期間の初めから2022年6月前半にかけては、ロシアによる軍事侵攻などウクライナ情勢の緊迫化や、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中国におけるロックダウン（都市封鎖）措置の拡大や長期化による中国経済や世界経済の先行き懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となったものの、英国やカナダ、米国、オーストラリアなどの中央銀行が政策金利を引き上げたことや、市場予想を上回る消費者物価指数（CPI）などを受けてFRBによる金融引き締め加速の見方が強まったこと、ECBが政策金利の引き上げ開始や大幅な利上げの可能性を示唆したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。6月後半から7月下旬にかけては、FRBやECBによる政策金利の引き上げなどが利回りの上昇要因となったものの、米国や欧州の中央銀行による金融引き締め加速や米国やユーロ圏の市場予想を下回る景況感に関する指標などを背景に、景気後退の可能性が懸念されたことなどを受けて、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。8月上旬から10月中旬にかけては、ECBやオーストラリア準備銀行（RBA）などの主要中央銀行が政策金利を引き上げたことや、タカ派（金融引き締めの政策を支持）的とみなされた複数のFRB高官の発言や米国の市場予想を上回るCPIを受けて、FRBによる金融引き締めの長期化観測が強まったことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。10月下旬から期間末にかけては、ECBが政策金利引き上げ継続の姿勢を示したことなどが利回りの上昇要因となったものの、市場予想を下回る米国のインフレ指標や公表された米国連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨などから、FRBによる金融引き締めペースの減速が見込まれたことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。

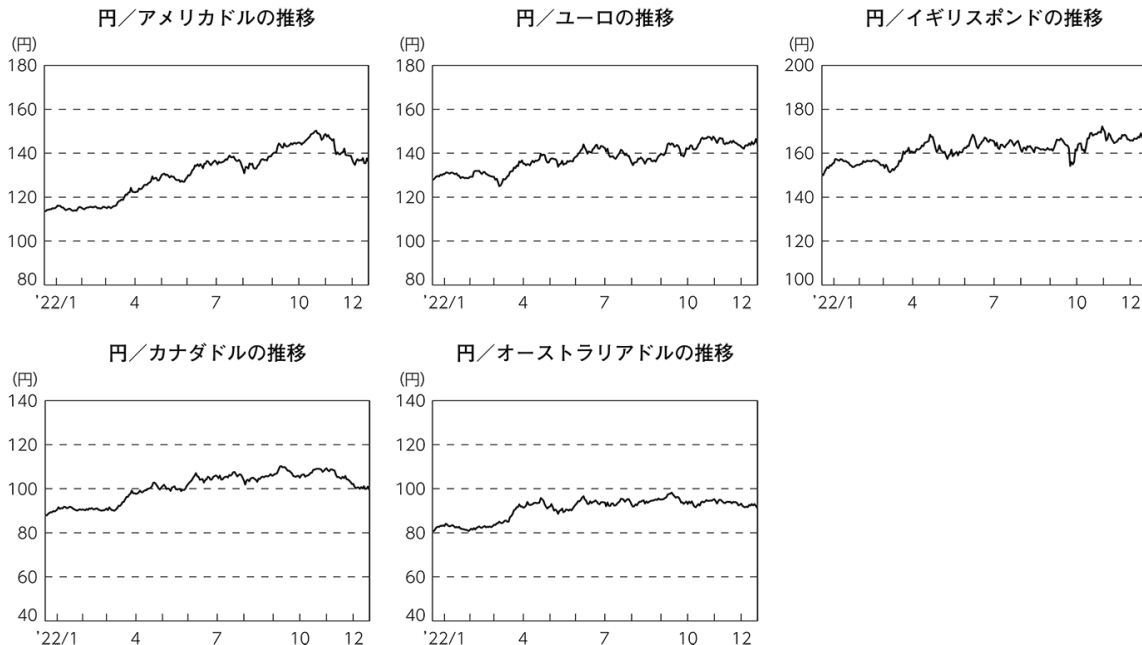
基準価額の推移



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2021/12/20	2022/09/08	2022/03/11	2022/12/19
18,358円	19,319円	17,723円	18,369円

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



ポートフォリオ

世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資を行ないました。

期間中の投資対象国（通貨ベース）は、アメリカ、ベルギー、ドイツ、フランス、オランダ、イギリス、オーストラリア、カナダ、メキシコ、イスラエル、シンガポールを継続し、また、アメリカドルとユーロの対円での底堅い推移を想定し、これらの投資比率を高めとしました。

○今後の運用方針

世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資を行なう方針です。当面、投資対象国（通貨ベース）、ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）ともに、現状を継続することとしますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。また、市場全体のボラティリティ（変動性）が高まる局面では円建債券の組入れを検討します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2021年12月21日～2022年12月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 9 (9)	% 0.049 (0.049)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	9	0.049	
期中の平均基準価額は、18,522円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月21日～2022年12月19日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 2,827	千アメリカドル 2,501
		地方債証券	—	878
		特殊債券	—	187
	カナダ	国債証券	千カナダドル 105	千カナダドル 176 (30)
		地方債証券	—	95
	国	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
フランス		国債証券 779	474	
ベルギー		国債証券 24	380	
イギリス		千イギリスポンド 86	千イギリスポンド 255	
オーストラリア		千オーストラリアドル 389	千オーストラリアドル 440	

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月21日～2022年12月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年12月21日～2022年12月19日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2022年12月19日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 3,909	千アメリカドル 3,343	千円 455,511	% 50.3	% —	% 25.3	% 8.6	% 16.4
カナダ	千カナダドル 130	千カナダドル 124	12,449	1.4	—	1.4	—	—
メキシコ	千メキシコペソ 2,200	千メキシコペソ 1,988	13,695	1.5	—	—	—	1.5
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	370	341	49,344	5.4	—	—	5.4	—
フランス	1,780	1,501	216,757	23.9	—	14.6	5.4	3.9
ベルギー	360	337	48,706	5.4	—	5.4	—	—
イギリス	千イギリスポンド 380	千イギリスポンド 301	50,053	5.5	—	3.9	0.5	1.1
オーストラリア	千オーストラリアドル 350	千オーストラリアドル 299	27,370	3.0	—	2.2	0.8	—
シンガポール	千シンガポールドル 50	千シンガポールドル 49	4,994	0.6	—	0.6	—	—
イスラエル	千イスラエルシェケル 300	千イスラエルシェケル 280	11,029	1.2	—	—	1.2	—
合 計	—	—	889,913	98.2	—	53.3	22.0	22.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償 還 年 月 日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) 国債証券	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
US TREASURY N/B	0.125	210	203	27,769	2023/8/15
US TREASURY N/B	4.5	880	885	120,587	2024/11/30
US TREASURY N/B	0.375	150	129	17,603	2027/7/31
US TREASURY N/B	0.75	650	563	76,707	2028/1/31
US TREASURY N/B	1.5	249	217	29,664	2030/2/15
US TREASURY N/B	2.875	270	256	34,997	2032/5/15
US TREASURY N/B	1.125	380	253	34,521	2040/5/15
US TREASURY N/B	1.25	600	355	48,389	2050/5/15
US TREASURY N/B	1.875	50	34	4,746	2051/2/15
特殊債券(除く金融債) NEDER. WATERSCHAPS BANK	2.375	470	444	60,524	2026/3/24
小 計				455,511	
(カナダ) 国債証券		千カナダドル	千カナダドル		
CANADIAN GOVERNMENT	2.25	120	116	11,623	2029/6/1
CANADIAN GOVERNMENT	2.0	10	8	825	2051/12/1
小 計				12,449	
(メキシコ) 特殊債券(除く金融債)		千メキシコペソ	千メキシコペソ		
EUROPEAN INVESTMENT BANK	4.25	2,200	1,988	13,695	2024/6/19
小 計				13,695	
(ユーロ…ドイツ) 特殊債券(除く金融債)		千ユーロ	千ユーロ		
NRW. BANK	0.5	370	341	49,344	2026/5/11
(ユーロ…フランス) 国債証券					
FRANCE (GOVT OF)	—	250	242	34,974	2024/3/25
FRANCE (GOVT OF)	0.5	180	171	24,787	2025/5/25
FRANCE (GOVT OF)	1.0	180	169	24,419	2027/5/25
FRANCE (GOVT OF)	0.75	380	346	50,026	2028/5/25
FRANCE (GOVT OF)	1.5	90	83	12,005	2031/5/25
FRANCE (GOVT OF)	—	270	211	30,458	2032/5/25
FRANCE (GOVT OF)	1.25	70	57	8,281	2036/5/25
FRANCE (GOVT OF)	0.5	70	47	6,807	2040/5/25

銘柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償 還 年 月 日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フランス) 国債証券	%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
FRANCE (GOVT OF)	0.75	290	173	24,996	2052/5/25
(ユーロ…ベルギー) 国債証券					
BELGIUM KINGDOM	0.9	110	99	14,341	2029/6/22
BELGIUM KINGDOM	3.0	150	151	21,858	2034/6/22
BELGIUM KINGDOM	1.9	100	86	12,507	2038/6/22
ユーロ計				314,808	
(イギリス) 国債証券		千イギリスポンド	千イギリスポンド		
UK TREASURY	0.125	60	59	9,915	2023/1/31
UK TREASURY	0.375	30	26	4,446	2026/10/22
UK TREASURY	0.125	30	25	4,235	2028/1/31
UK TREASURY	0.25	60	46	7,644	2031/7/31
UK TREASURY	4.5	30	32	5,445	2034/9/7
UK TREASURY	1.125	40	27	4,562	2039/1/31
UK TREASURY	1.5	130	83	13,803	2047/7/22
小 計				50,053	
(オーストラリア) 国債証券		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
AUSTRALIAN GOVERNMENT	0.25	90	82	7,557	2025/11/21
AUSTRALIAN GOVERNMENT	2.5	100	94	8,609	2030/5/21
AUSTRALIAN GOVERNMENT	2.75	90	77	7,068	2041/5/21
AUSTRALIAN GOVERNMENT	1.75	70	45	4,135	2051/6/21
小 計				27,370	
(シンガポール) 国債証券		千シンガポールドル	千シンガポールドル		
SINGAPORE GOVERNMENT	2.875	50	49	4,994	2029/7/1
小 計				4,994	
(イスラエル) 国債証券		千イスラエリシェケル	千イスラエリシェケル		
ISRAEL FIXED BOND	0.5	300	280	11,029	2025/4/30
小 計				11,029	
合 計				889,913	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年12月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	889,913	97.7
コール・ローン等、その他	20,858	2.3
投資信託財産総額	910,771	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(904,613千円)の投資信託財産総額(910,771千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=136.22円、1カナダドル=99.63円、1メキシコペソ=6.8865円、1ユーロ=144.35円、1イギリスポンド=165.82円、1オーストラリアドル=91.27円、1シンガポールドル=100.44円、1イスラエルシェケル=39.3665円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	910,771,346
コール・ローン等	17,142,147
公社債(評価額)	889,913,021
未収利息	3,341,788
前払費用	374,390
(B) 負債	4,601,606
未払解約金	4,601,595
未払利息	11
(C) 純資産総額(A-B)	906,169,740
元本	493,318,008
次期繰越損益金	412,851,732
(D) 受益権総口数	493,318,008口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,369円

(注) 当ファンドの期首元本額は583,467,410円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は90,149,402円です。

(注) 2022年12月19日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・新ソブ 493,318,008円

(注) 1口当たり純資産額は1.8369円です。

○損益の状況 (2021年12月21日～2022年12月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	14,861,315
受取利息	14,862,279
支払利息	△ 964
(B) 有価証券売買損益	△ 12,717,947
売買益	171,588,338
売買損	△184,306,285
(C) 保管費用等	△ 487,954
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,655,414
(E) 前期繰越損益金	487,663,781
(F) 解約差損益金	△ 76,467,463
(G) 計(D+E+F)	412,851,732
次期繰越損益金(G)	412,851,732

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2021年12月21日から2022年12月19日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。